

# 白河歴史探訪 白河・棚倉藩主阿部家の歴史とゆかりの地

## 日本国内および世界の動き

1603年 徳川家康が征夷大将軍となり江戸幕府を開く。



江戸幕府初代将軍 徳川家康

1642年 イギリスにて清教徒革命。

1644年 中国にて清国成立。

1703年 赤穂浪士仇討ち。三代 阿部正武が老中として事件を担当。

1750年以降 イギリス 産業革命を完了。

1776年 アメリカ合衆国独立。

1787年 松平定信による寛政の改革。

1789年 フランス革命。

1835年 天保の大飢饉。

1840年 イギリス-清国間でアヘン戦争。



松平定信像 (白河市南湖公園)

1853年 ペリーの艦隊来航。翌年日米和親条約締結。

1859年 安政の大獄。

1860年 桜田門外の変。

1861年 アメリカ南北戦争 (65年まで)

1864年 第一次長州征伐。

1866年 大政奉還。第十五代将軍徳川慶喜が政権を朝廷に返上。



アメリカ艦隊司令官 ペリー提督

1867年 スウェーデンのノーベルがダイナマイトを発明。

1868年 戊辰戦争にて会津藩が新政府軍に降伏。

1869年 スエズ運河開通。

1871年 明治新政府による廃藩置県。全国の藩が廃止され、地方統治が政府管理下の府と県に統一された。



会津若松城

## 408年前 366年前 307年前 170年前 157年前 144年前 143年前 139年前

### 阿部氏の歴史

1602年 初代 忠秋生まれる。後に二代将軍となる徳川秀忠より「忠」の字を授かり、正秋から忠秋に改名。

1633年 忠秋 老中となる。その後阿部家では二代正能 三代正武、四代正喬、五代正允、十五代正外の6名もが老中となる名門であった。

1639年 忠秋 武蔵国(埼玉県)忍藩主となる。

1822年 九代 正権の時、阿部家は183年に渡って統治した忍藩から白河藩へと移封。藩の負担は大きかったが領内の豪商が積極的に藩を援助した。

1835年 天保の大飢饉では、白河藩でも餓死者が出るなどしたが、他藩と比較して被害は最小に留まった。これは家宝を売却しても領民を救済しようとした十一代藩主 正瞭と藩内豪商などの積極的な救済があったためである。

1864年 十五代 正外、白河藩主となる。正外は神戸開港に尽力するが、朝廷の承諾を得ずに神戸開港を幕府の権限で行おうとし、老中を朝廷より罷免される。当時は理解されなかったが、実質的に鎖国を解いたのは正外であり、日本の近代化において大きな意味を持つ。

1866年 十六代 正静の時阿部家は白河から棚倉に左遷。白河藩内では領民から転封に反対する声が多くあがった。白河藩では飢饉においても一揆がおきておらず、阿部家が白河でいかに良い政治をしたかがわかる。

1868年 戊辰戦争「白河口の戦い」。棚倉藩は藩主正静が藩兵を率いて奥羽越列藩同盟に加わり新政府軍と戦うが敗退。棚倉城も板垣退助率いる新政府軍の攻撃を受けて落城する。

1871年 廃藩置県により阿部家最後の棚倉藩主、十七代 正功のとき廃藩となる。藩祖忠秋以来246年間続いた藩の支配及び主従関係の終焉を告げた。



### 白河小峰城

南北朝時代からあった城を初代白河藩主、丹羽長重が4年の歳月をかけて改修しました。九代正権より45年間、阿部家白河藩の藩庁となり、戊辰戦争の白河口の戦いでは奥羽越列藩同盟軍と新政府軍の激し

い戦いの舞台となり、兵火で大半を消失し落城しました。現在は城跡が公園として整備され、結城家や阿部家に関する資料を展示した「白河集古苑」があります。

住所：福島県白河市郭内 TEL:0248-24-5050  
JR東北本線「白河」駅下車、徒歩約10分



### 棚倉城址

白河より移封された阿部家最後の居城となりました。棚倉藩は奥羽越列藩同盟軍として戊辰戦争に加わり、白河口の戦いでは十六ササゲと呼ばれる棚倉藩の誇る十六人の剣豪が活躍し、官軍から恐れられました。「仙台カラス、棚倉十六

ササゲいなければ官軍高枕」という詩が残っています。戊辰戦争の戦火で落城し、現在は石垣、堀、土塁などが残され、公園となっています。

住所：福島県東白川郡棚倉町大字棚倉  
JR水郡線「磐城棚倉」駅下車、徒歩約10分



### 南湖公園

江戸幕府の老中となり寛政の改革を行った白河藩主、松平定信が「士民共楽(武士と庶民が共に楽しむ)」という理念の元、1801年に造営しました。定信は著書『白川家政録』で阿部家初代の忠秋を尊敬する政治家として挙げています。

住所：白河市南湖地内  
JR東北本線「白河」駅下車、徒歩約10分

### 棚倉町内阿部家ゆかりの史跡



阿部家使用茶室 暮末に阿部家が使用した茶室が、棚倉町内に残されています。時の藩主もここでお茶を飲んだかも知れません。※現在は個人所有で、通常一般公開は行っていません。



### 蓮家寺(れんげじ)

三代将軍徳川家光の時代に御朱印寺となり、歴代棚倉藩主の庇護を受けた名刹です。戊辰戦争時には、棚倉城を攻めた板垣退助軍の本営となりました。写真の鐘楼(かねつき堂)は国指定の重要美術品です。

### 蓮家寺境内の見所



### 阿部家正室の墓

十六代藩主、阿部正静の正室の墓と伝えられています。



### 棚倉藩戦死者慰霊碑

戊辰戦争で敗戦した棚倉藩は、新政府に配慮して忠魂の「忠」の字が「弔」になっています。石碑の文字は藩主、正功の筆と伝えられています。

石碑の拡大写真。  
※文字がわかりやすいように写真を修整しています。

住所：福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字新町129  
TEL:0247-33-2344  
JR水郡線「磐城棚倉」駅下車、徒歩約4分

